法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-27

II部・日本文芸作品作家研究ゼミナール (10)d: 中島敦の文学とその系譜(ゼミナール選抜の手引き: 学習の方法)

勝又, 浩/ 岡崎, 哲也

(出版者 / Publisher)

法政大学国文学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

日本文學誌要

(巻 / Volume)

56

(開始ページ / Start Page)

119

(終了ページ / End Page)

120

(発行年 / Year)

1997-07-12

(URL)

https://doi.org/10.15002/00019982

日本文芸研究ゼミナー 説の創作

ЖΪ

学生が一人ひとり自分の意見や感想を述 文学作品の例を交えつつ指摘し、 る問題点、 感想等を述べ、文章の構成や展開に関 持ち寄って批評するという形を取って 紙三枚程度の小説を書き、 より出されたテーマを基に、 我々のゼミは文芸、 笠原淳教授にご指導 中から われる。 批評はまず笠原教授が全体の印象 時には主観的な感覚批評 学生の批評は専門的であ 或い (たとえ教授の指摘であ 批評される側はそれらの は優れている点を過去の 初めの授業時に笠原教授 主に小説の創作を行 いただい それを授業に 各人原稿用 続いて 7

> みを受け入れる事が許され も)自らに有効であると思わ 7 n るも の

思われる意見に対しても参考として心に 止めておく位の柔軟さは必要である。 必要とされる。 ためには各人の日頃の努力と創作意欲 て自由であり、 マと枚数のみで、 作品に関して決められていることは それだけに小説のレベルを上げる また自分にそぐわない 従って特定の参考文献 ジャンルや形式 ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୷ୡ୕୷ୡୄ୵ୡୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୶ୡୄ୷ୡୄ୷ୡୄ୰ୡୄ

でもある。 選択の自由が与えられてい 中心なので、三年生が何をするかが当面 の課題である。 立しておらず、 生の中から編集委員を決め作成を行う。 や形式も自由である。 も長編に挑むことができる。またテーマ 限は特になく、 っている。 当ゼミは設立されてからの年数が浅 作品の発表の他に、 毎日の授業での作品発表は二年生が 未だ授業形式などのシステム 三冊発行している。作品の枚数制 この自由度の高さこそが当ゼ 二年生は一 とはい 改善の余地が残され 普段短編中心の当ゼミで · Ž 小冊子の作成は学 年に一冊、 小冊子の発行も行 それは学生に るということ が 7

ミの長所であると考える。

担当教員 笠原 淳

先生

小説・評論など)創作 日本文芸研究ゼミナ I ル Ш (14)村 先生

編注:今回、学生委員未決定による連絡ミスのため、内容の 詳細については省略させて頂きます。

II部・日本文芸作品作家研究ゼミナール 島敦の文学とその系譜 (10)

三年 岡 哲也

ていく。 井上靖などの作家の作品とともに比較し 島敦の作品をとりあげ、 が重なり、 加えて時代が苛烈な戦争下という悪条件 と思うが、 山月記」などで知っている人も多い 戦前の論評は少ない。 極めて短期間の作家生活と、 また夏目漱石や

品ごとに何人かのグループをつくり を討論し、問題を深めてい ゼ そこで気づいた疑問点・問題点など ミの進め方としては、 それぞれの作

藤春夫「田園の憂欝」、井上清「孔子」。 島敦全集」)。他に夏目漱石「夢十夜」、 過去張」「弟子」(いずれも筑摩文庫版 今年とりあげる作品は、 参考書・『中島敦―昭和作家のクロ (双文社出版、 担当教員 3800円税別 勝又 中島敦「古譚 先生 中

戦後の 日 [本文芸作品作家研究ゼミナー "青春文学"と"老年文学" ル (7)d

小笠原賢二先

直

日本文芸作品作家研究ゼミナー 生成変形文法による日本語の分析 ル (8)d

佐川誠義先生

日本文芸作品作家研究ゼミナ] ル (9)d

昭 和文学、 特に戦後の作家から

堀江拓充先生

日本文芸作品作家研究ゼミナール(1) 勝先生 a

古事記

11 各ゼミナールのゼミナー (代表者) もしくは学生委員 ル 委員

*

:委員 絡係)。

日本文芸作品作家研究ゼミナー

ル

(1)

日本文芸作品作家研究ゼミナー

日本文芸作品作家研

究ゼミナール(3)

a

安藤信廣先:

ル

(2)

a

天野紀代子先生

源氏物語

(第二部)

唐代の詩文

徒然草

日本文芸作品

作家研·

究ゼミナール

(5)

b

西野

雄先生

杉本圭三郎先生

能楽研究

本文芸作品作家研

究

ゼミナー

ル

(6)

聖先生

雨

月物語

(前期)

日本文芸作品作家研究ゼミナール(4)

b

日本語学の研究方法

間宮厚司

ろが最近、 って、 です。 登録は新鮮な一年時となりました。 しながら一年生にはとまどいも多い [結しますから、日本文学科の学生にと 二年 その選択はとても大切です。 間 0 履修学年の変動があり、 ゼミナー ル履修は卒業論文に

ゼミ とこ

か

ゼミナール委員諸君の目を通してゼミナ が、適切な参考文献も示されています。 ールの様子を見ることにしました。 すのに役立てて下さい。 の仕方には若干の差があると思います 十分研究して、充実した第一歩を踏み出 従ってここでは、 新学期、 選出され た

とれませんでした。 出されたか摑めず、十分なコンタクトが 旬までにどのようにゼミナール委員 はゼミの内容と担当教員とを列挙するに とどめました。 ただ残念なことにⅡ部に於ては四 御了承ください。 そこで勝又ゼミ以外 が選 月 中

編集者